

■会議結果報告書■

会議の名称	令和6年度第2回札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会
日時・場所	令和6年10月8日(火) 13:30~15:00 大通バスセンタービル1号館5階 子ども未来局会議室(WE B会議)
出席委員 (9名/10名中)	加藤 弘通(部会長)、大場 信一、桑原 俊二、斎藤 規和、椎木 仁美、千島 孝洋、前田 尚美、三好 琴音、箭原 恭子(敬称略)
傍聴者数	2名

議事	概要等
議題1: 母子生活支援施設整備計画の承認について	<p><事務局説明> 事務局より、以下の資料について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料1-1 母子生活支援施設整備計画の承認について ○資料1-2 母子生活支援施設すずらん整備計画の概要及び事前審査結果 ○資料1-3 改築図面 <p><主な質問及び意見> (委員)</p> <p>すずらんの裏側に認可保育園の駒鳥保育所があるが、母子生活支援施設と保育所との隙間が非常に狭い。工事中の保育所の園児の安全確保について、何か特別な配慮があるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>既存建物と駒鳥保育所が結構近いというのはそのとおり。工事に当たっては子どもが通う施設でもあるので、細心の注意を払っていただくように事務局からも事業者にも申し伝え、対応いただきたいと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>短期入所での使用はどういうことを想定されているか教えていただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>現時点で正式に確定しているものではないが、母子生活支援施設の在り方の検討の際に意見をいただいた妊婦支援の関係やそのほか支援が必要な家庭について、状況を踏まえて必要な支援を行っていきたいと考えているところ。具体的な運用はこれから法人との打合せをし、引き続き検討してまいりたい。</p> <p>(委員)</p> <p>24時間体制など新しい試みも検討されているとのことだが、図面上に何かわかるものはあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>宿直室を設け、24時間対応できるようにしているほか、一時的な入所に対応できる部屋も設けている。</p> <p>(委員)</p> <p>産む前のひとり親になるかならないかが確定していない妊産婦の方たちへの対応について話し合っているのか教えていただきたい。</p>

	<p>(事務局)</p> <p>具体的な妊産婦の受入れについては、先に改築したもいわ荘や今回改築するすずらんなど、施設でどういう形で実施できるかを、まさに今、検討している段階。</p> <p>すずらんは短期入所の部屋を設けていただけるので、妊産婦に限らず、そのほか運用面や支援が必要な家庭の受入れも含めて事業者と検討してまいりたい。</p> <p>(委員)</p> <p>新しい施設の居室について、広さが異なる部屋があるが、現在入居している利用者の世帯構成に合わせて対応できるのか確認したい。</p> <p>(事務局)</p> <p>新しい施設に引っ越しをする際、どこの居室に入居するのか、世帯の状況に配慮しながら施設側と入居者側で相談しながら検討していただくよう、施設側に申し伝える。</p>
<p>議題 2 : 里親の認定</p>	<p>※決議により非公開とした。</p>